

グリーンツーリズム協議会支援を問う

質問

奥州グリーンツーリズム協議会は、農山村体験や農家との団らんの機会を提供し、都市との交流による交流人口の拡大や地域経済の活性化など本市の活力に貢献している。平成28年度の同協議会に対する市補助金を見る限り、市が行うべき事務局職員の賃金に振り向けさせた行為は、市民と行政双方が信頼のもと、対等の立場で進めようとする協働の理念に反する。速やかな改善と今後の支援のあり方を伺う。

市長

平成28年度から臨時事務職員賃金の5カ月分を同協議会に負担を願った。同協議会がこれまで積み上げた実績を大事に、持続可能な運営のあり方を協議会と協議しながら検討したい。

特にこの事業は重要な事業であるとの観点から、市としてシッカリとした事務局を今後とも担う姿勢に変わりはなく、役割分担を明確にし、双方合意点を見つけ、末永く継続し発展していく状況をつくるため力を尽くしたい。

木質バイオマスの利活用を

質問

市バイオオマスタウン構想に基づく、木質バイオマス利活用の状況と今後の取組みを伺う。

市長

現在の同構想により推進しているが、安価な化石燃料に比較すると採算が取れず思うように進んでいない。全国的な木質バイオマス発電所の建設ラッシュで、将来的に燃料となる木質チップの供給量が先細ると観測。木質バイオマス事業は採算性を含め慎重な検討を要す。



今年も多くの教育旅行生が来奥



ひろの 廣野 とみお 富男 議員(市民クラブ)

若者参画の環境整備と若者政策の充実を

質問

若者が自ら考え主体的に行動する「若者が活躍するまち」を目指し、若者の思いや意見を伝える機会の確保と反映をしていく、若者参画の環境整備をすべきと考えるが。

市長

最も重要なのは自主性である。その自主的な活動を側面からサポートする仕掛けをつくり、一過性ではなく継続的にまちづくりに関与するサイクルに繋がればと考える。

質問

社会の一員で主権者としての自覚を持つためには、早い段階から学校・家庭・地域が連携した子ども社会参画の機会を充実すべきと考える。主権者教育の取り組みを伺う。

市長

家庭教育の環境整備や地域資源を活用した体験活動、子どもが地域に主体的に関わる機会創出が必要である。市では寺子屋やジュニアリーダー育成、市民劇等を通じ、自立・主体的な人材育成を推進している。今後国の主権者教育推進方針を踏まえ実施していく。

教育委員長

小中学校では、社会科学習や特別活動での話し合い、道徳での「社会参画・公共の精神」を取り上げた学習をはじめ、アクティブラーニングの視点に立ち、体

験的学習や問題解決的学習を重視し、主権者教育の推進を図っていく。

緊急告知ラジオを全戸配布せよ

質問

災害時の情報伝達手段はコミュニティFMを核とし、緊急時の自動起動に対応する緊急告知ラジオを全戸に無償貸与すべきと考えるが。

市長

緊急告知ラジオと緊急速報メールが核と考える。難聴地域の解消に取り組みとともに、緊急告知ラジオの全戸無償貸与については検討していく。



すがわら 菅原 よしかず 由和 議員(奥和会)



「群」の会創立30周年記念フォーラムで語り合う若者たち